



第 42 号

所 場 会
行 龍 ケ 馬 同
区 竜 ケ 馬 同
水 沢 高 校 窓 会
水 沢 高 校 窓 会
☎0197-24-3151

昨年、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まりました。招致委員会の総力を結集させたほか、日本独特の「おもてなし」の精神も伝わったのかもしれない。

東京オリンピックといえ、私はすぐに「昭和39年10月」と頭の中に浮かびます。それは丁度、水高1年生だったからです。当時、東京五輪を覚えていた年代の方々も50年前自分が何をしていた頃か俄かに思い出すでしょう。私はテレビを通して、抜けるような青空の下での開会式、そこに描かれた五輪の輪、各国選手団の個性ある入場行進、そして競技に入っていたの日本選手の活躍に拍手を送ったものでした。女子バレーボール、マラ



忘れえぬ記憶

同窓会長 長野 耕 定

ソンの円谷幸吉選手等々。なかでも重量挙げの三宅義信選手の金メダルが印象に残っています。力技の競技で日本人が勝つなんて衝撃的な事でした。最近分かった事です。が、重量挙げは力だけではなく、体の柔軟性、手首をかえし差し込むタイミングなどいろんな要素があってこそ、あんな重いバーベルを持ち上げる事が出来るのを知りました。再来年に第71回国民体育大会が岩手で開催されます。私も体育協会として大会の円滑な運営を目指しているところですが、奥州市で行われる競技の中に、ウエイトリフティングが入っているのです。普及、強化に向けてメダリストの三宅義行さん、宏実さん親子を迎えて指導をいただいているところ

ろです。特筆すべきは、この種目で今年度、本校3年の及川佳将君(56kg級)と千葉健介君(53kg級)の活躍でした。二人とも長崎国体に出場を果たしました。両君は今後進学しても競技を継続されると聞いております。さらなる活躍を祈念すると共に、応援を続けていきたいと思えます。

今年度まる3年になる東日本大震災、未だに復興復旧は道半ば時間がかかっています。私達も含め絶対に忘れること出来ない年にもなりましたが、今春卒業する生徒さんにとっても本校入学を目前に起きた出来事でした。私の高1の時の事とは違い、家族・地域等胸に深く刻まれたことでしょう。

う。同窓生の方々も復興支援、交流などを通じて被災地との関わりを持たれてきたと思います。今後も大いに関心を持ち続けていかなければならないと思えます。来る岩手国体の趣旨にも、大会を一過性のものでせず、大震災からの復旧復興過程にあることを踏まえつつ、全国からの復興支援に感謝を込めて開催すると述べられてるところです。最後に、このところ毎年参加者が増えてきております本部同窓会も、すでに今年度の開催日が決まっております。8月9日土曜日に開催しておりますので、皆さん多くの参加を願っております。今年も宜しくお祈り致します。

同窓会総会

今年度の総会は、8月10日土曜日14時から水沢グランドホテルで開催されました。

今年度も多くの同窓生にお集まりいただき、総会には55名、後援会には75名、懇親会には62名のご参加をいただきました。総会では、事業計画やそれに伴う予算、新役員などご承認いただきました。

今年度も昨年を引き継ぎ、総会後、講演会を開催しました。昭和47年卒(24回生)の青沼国夫氏に「私の異文化体験〜東南アジアからの報告」と題して講演していただきました。青沼氏は現在はフィリピンでEPA看護師・介護福祉士候補者のための日本語コースの主任として活躍されており、海外生活二十年、一貫して日本語教育に携わっている方です。



ご自身の経歴をお話しいただきながら海外の状況を説明していただきました。そして、その海外経験から異文化を理解するには常識をずてることや広い心を

もつこと、またカルチャーショックを楽しむことなどが必要であることを聞くことができました。同窓生ではないが青沼さんの講演を聞きたいという人もあり、大好評でした。



その後の懇親会でも、青沼さんはじめ出席いただいた同窓生の方々に親睦を深めていただきました。来年度も、盛り上がる同窓会総会にしたいと思えます。多くの同窓生のみならずのご参加をお待ちしております。



水高生のノブレス・オブリージ



校長 高橋 和夫

同窓生の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。赴任以来、同窓生の皆様の母校に対する熱い思いに接し、大変ありがたく思っております。また、本校に勤務することの幸せを感じております。生徒達にとっても、このような恵まれた環境の中で学習や部活動に励むことは幸せなことだと思います。

さて、今年度は創立103周年を迎え、さらに学校の活性化と魅力ある学校づくりを図るべく、生徒・教職員が一丸となって取り組んでいるところです。

生徒達の部活動での活躍は目覚ましいものがあります。詳細は他のページに譲ることにして、全国大会入賞についての

み触れたいと思います。全国高校総合体育大会ウエイトリフティング競技では及川佳将君(3年)が見事優勝に輝き、国民体育大会では、及川佳将君が2位、千葉健介君(3年)が3位に入賞しました。尚、及川佳将君は岩手日報体育賞を受賞しています。また、文化部の書道部、短詩・文芸部、囲碁将棋部の活躍も目覚ましく、全国大会で上位に入賞することができました。第18回全日本高校・大学書道展では、団体

が6位入賞、2年の菱谷ほのかさんが大賞に輝きました。全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門で優良賞(5位)を受賞、また第16回俳句甲子園大会では5位に入賞しています。全国高等学校総合文化祭囲碁部門では、1年の星野初音さんが他校の生徒とメンバーを組んで臨んだ団体戦で5位に入賞しました。他にも、全国大会に出場した部や個人、平成26年度の全国大会出場を決めた部が複数あります。また東北大会や県大会での活躍など本場に素晴らしいと感じています。これも偏に、同窓生の皆様の築き上げた伝統を受け継ぎ、発展させようとの思いで取り組んだ成果だと嬉しく思っています。

学習面、特に3年生の進路状況(推薦やAO入試)については、過去最高の合格率となるなど例年以上に好調に推移していると判断しております。センター試験が終わったばかりで、これから本番でありますが、生徒の目標実現に向け職員一丸となって誠心誠意取り組んでいるところです。

標題の「ノブレス・オブリージ」はフランス語「Noblesse(貴族)」の「Obliger(義務、責任を負う)」を合成した言葉で、高校

生に対して言うときは「上に立つ者、リーダーたる者、あるいは、リーダーにならないとする者は、果たさなければならぬ義務や責任がある」という意味で用います。水高生の「ノブレス・オブリージ」とは、胆江地区のセントラススクールで学ぶ者として、学業に専念し、部活動や奉仕活動などに積極的かつ主体的に取り組むこと、そして挨拶や礼儀、マナーについての心掛けもしっかりできていることと捉えて指導しています。また生徒達には、孔子の言う『恕の精神』即ち『思いやりの心』と孟子の言う『忍びざるの心』即ち『人の不幸を見過ごすことのできない心』の大切さについても説いています。

私は東日本大震災の際、校長として大植高校に勤務していました。私自身も被災し、大植高校の避難所運営をしていたとき、「日本人は思いやりがあり、人の不幸を見過ごしてはいない」と心底思いました。大震災は多くの尊い命を奪い、甚大な被害をもたらしましたが、被災地には全国各地から思いやりや真心が多数寄せられ、人との繋がりがやりの大切さをしみじみ感じて参りました。しかしながら、最近では痛ましい事件や事故が相次いでいます。このような世の中だからこそ、『恕の精神』や『忍びざるの心』を大事にしなければならぬと生徒達に話しています。勿論生徒達は、私が言うまでもなく、復興支援等の奉仕活動に率先して取り組んでいて大変嬉しく感じているところです。

最後に、水高生の「ノブレス・オブリージ」を大事に指導し、これからも活力と魅力ある学校づくりに職員一丸となって取り組んで行きます。同窓生の皆様には、今後とも温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

関東地区総会

関東地区同窓会総会は、11月9日、東京グリーンパレスで開催。17回目、野耕定同窓会長、高橋和夫校長、事務局の菊池竜太先生と及川伸也先生にご出席頂きました。冒頭、東日本大震災の犠牲者へ黙祷を捧げました。議事は、只野康夫会長より「東北楽天イーグルスの優勝に興奮、東北人の血が騒いだ」との挨拶で始まり、只野会長は今回の総会をもって退任、新会長に山口光さん(15回生、昭和38年卒)を選出。副会長・監事も交代し、新体制となりました。特別講演に移り、山口新会長が講演。国際ジャーナリストとして、2

仙台支部総会

仙台支部は平成25年の総会を7月22日、仙台ガーデンパレスで開催しました。本部から長野同窓会長、川島前同窓会副会長、学校から高橋校長先生、同窓会事務局担当の谷木先生をお迎えし、総勢50名の参加での総会懇親会となりました。前回の支部総会は平成24年2月でしたので1年5カ月ぶりの開催です。仙台支部は支部会則で、2年に一回以上の総会を開催することとしていますが、昨年の総会時に本部から毎年開催を検討しては如何かとのアドバイスがありまた会員数(名簿上では約650名)も多くなっていますので、会員相互のコミュニケーション

020年東京オリンピックや北上山地へのILC誘致に因り、奥州市の課題と歴史的潜在ポテンシャルについて解説。また新会長として、「関東地区同窓会、水高卒業生の交流・情報共有のナショナル・ハブセンター」としたいと表明されました。

懇親会では、4月に首都圏の大学に進学した卒業生4名が参加。先輩諸氏と交流してもらいました。時間とともに、お酒で舌も滑らかになり、水高や故郷を想い、談笑や議論の輪ができました。最後に、逍遙歌を作詞者阿部庄一郎先生のお嬢様松樹借子さん(3回生、昭和26年卒)の歌唱指導で歌い、「応援団長」高橋徹さん(26回生、昭和49年卒)に応援団OBの菊池先生と大学生菊池聡君が加わりタクトをとり、

ンの機会を多くし、かつ母校の最新の情報を直接校長先生からお聞きし、後輩諸君の活躍ぶりや学校の発展ぶりに触れその応援の機会が増えればということ。今年開催の試行としました。今回の参加者は昭和26年卒業(高校3回)から平成7年卒業(高校47回)までと、まさに100周年を過ぎた学校の同窓会にふさわしいものでした。長野同窓会会長、高橋校長先生はじめ来賓各位から同窓会や



校歌を斉唱し会を終えました。(関東地区同窓会 工藤康博 (20回生、昭和43年卒))



学校の近況などをお聞きし、後輩の各分野での活躍や、往年の竜が馬場の思い出などを話題にし大いに気を良くし、旧交を温め懇親を深め2時間があっという間に過ぎ最後は校歌斉唱で解散となりました。

今後仙台支部としては、総会開催日時の固定化、会員の皆様への連絡方法の改善などなど宿題がありますが毎年開催を定着させたいものだと考えています。なお、仙台支部同窓会への連絡先は以下のとおりです。
〒980-0022
仙台市青葉区五橋1丁目7-15 ビースピル五橋8F
(株)東日本広告社内 根反秀樹

盛岡支部総会

盛岡支部総会は7月12日「サンセール盛岡」で開催されました。始めに、同窓会会員である弁護士吉田瑞彦君による「岐路に立つ裁判員制度」について、講話をいただきました。とても興味深い話でした。

その後、総会、懇親会とすすめられました。今回は特に、にぎやかだったのは新しい同窓会会長の長野耕定氏や校長、副校長、事務局の先生方の参加をいただいたことでした。毎年、本部からは来賓の参加をいただいております。本場に有難うございます。

ところで、わが盛岡支部には参議院議員平野達男君がいて、いつも参加いただいておりますが、このときは選挙戦の真っ最中で、会派も変わったばかりで皆で心配していましたが、無事当選しました。おめでとう。

どんな組織でもあると思うけど、悩みといえば、徐々々いつの間にか参加者の年齢が高くなっていく傾向があります。一つ贅沢な希望を言えば、高校野球が強くなってくれることかな。高校野球が強いと支部の集まりが良くなる傾向があるからね。小野 功 (2回生、昭和37年卒)



人生の錦秋を楽しむ

及川 陸男(五回生)

卒業60周年と傘寿を記念して8年ぶり4回目の盛岡地区同級会を11月19日ホテルメトロポリタン盛岡で開催した。仙台や奥州、宮古、釜石など県内各地から35名の笑顔が集う。及川英子さんと藤村千恵子さんの受付を経て開会前の語らい。記念写真撮影はプロの岩淵晃行君。渡邊泰安君の司会で進行、岩田行夫君の開会の辞、発起人代表の及川陸男は「人生の錦秋を迎えた今を楽しみ、教育(今日行くところがある)と教養(今日用事がある)を心がけていこう」と挨拶。今野徳哉君(奥州)の乾杯で怒涛のような会話で賑やかに。

スピーチは陸上競技一筋の阿部智君(仙台)、豊工業で叙勲の佐藤忠夫君(奥州)、鮭の皮細工発案の山田紀子さん(宮古)、老人クラブ会長の伊藤恰子さん(盛岡)ら多彩。また被災地で老人福祉施設経営に頑張る菊池ミヨ子さん(釜石)の姿に安堵。恩師やクラブ活動など高校当時の思い出や最近の暮らしぶりの話で盛り上がる。柳人佐々木杜夫君(奥州)が内視鏡、ゆれる心ものぞかれる「つい拍手、しなくなるよな、いい甲辞」「良い話、聞いて聞かせて、花まる日」の三句を披露し皆同感し肯く。千田正益君の中締め。ここからもしゃべるしゃべるの連続。次回の同級会での再会を誓い散会した。





水沢高勢が好成績

好成績を挙げた水沢高勢のメンバーは、三宅あかり、林裕子、山崎世也。

県立水沢高等学校の「水沢高勢」が、第18回全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

県高校新人大会・水沢

男子100m 岡山が県記録更新

県立水沢高等学校の水沢高勢が、第18回全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

女子2冠 朴沢が最優秀賞

水沢高勢の女子選手が、県高校新人大会で2冠を達成し、最優秀賞を受賞した。

水沢高勢の女子選手が、県高校新人大会で2冠を達成し、最優秀賞を受賞した。

学生書道の頂点に輝く

練習重ね完成度高める

水沢高 菱谷ほのかさん

県立水沢高等学校の「水沢高勢」が、第18回全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。水沢高勢は、全日本高校・大学書道展で、筆が輝いた。

延長15回の激闘

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢 執念の堅守貫く

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

胆江日日新聞 平成25年10月3日付

胆江日日新聞 平成25年9月6日付



若々しく開幕演出

県立水沢高等学校の若者が、若々しく開幕演出を行った。

県立水沢高等学校の若者が、若々しく開幕演出を行った。

水沢で総合開会式

水沢高勢の総合開会式が、水沢で盛大に行われた。

水沢高勢の総合開会式が、水沢で盛大に行われた。

胆江日日新聞 平成25年10月5日付



若々しく開幕演出

県立水沢高等学校の若者が、若々しく開幕演出を行った。

県立水沢高等学校の若者が、若々しく開幕演出を行った。

水沢で総合開会式

水沢高勢の総合開会式が、水沢で盛大に行われた。

水沢高勢の総合開会式が、水沢で盛大に行われた。

胆江日日新聞 平成25年10月5日付

現役生の活躍

重量挙げ 56キ級 及川(水沢)優勝

全国高校 今大会で県勢初

重量挙げ56キ級 ジャーク3回目で112kgを挙げる及川佳将(水沢)が、トータル202kgで栄冠をつかんだ。長崎県諫早市・諫早東高等学校1体育館

及川は予選の2回目で、ジャーク1回目で100kgを挙げて、ジャーク2回目で105kg、ジャーク3回目で112kgを挙げて、トータル202kgで優勝した。今大会は県勢初優勝となる。

延長15回の激闘

制球重視で完投 水沢の右腕

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢 執念の堅守貫く

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

胆江日日新聞 平成25年7月22日付

延長15回の激闘

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

水沢高勢の投手陣が、延長15回の激闘を演じた。

胆江日日新聞 平成25年7月22日付



後輩も頑張っています

最近3年間の大学合格状況



卒業年				卒業年				卒業年				卒業年			
25	24	23	大学名	25	24	23	大学名	25	24	23	大学名	25	24	23	大学名
1			帯広畜産大	1			横浜市立大	1			十文字学園女大	1			東京有明医療大
	5	3	北海道教育大				新潟県立大	7	1		城西大				明星大
			小樽商大			1	新潟県立看護大			1	駿河台大			1	早稲田大
2	1		北見工大				福井県立大	1		1	東京国際大	7	3	3	神奈川大
			北海道大	4	2	1	都留文科大	1			明海大				神奈川工科大
			室蘭工大	1			山梨県立大	1			目白大	5	3	2	関東学院大
2	2		弘前大				静岡芸術文化大	1			ものつくり大				湘南工科大
6	6	4	岩手大	1		2	静岡県立大	1			浦和大				女子工大
23	24	23	東北大				岐阜県立大	1			日本薬大				新潟医療福祉大
9	14	5	宮城教育大				岐阜県立看護大	2	2	2	日本医療科学大	4	1		金沢工大
3	1	2	秋田大				愛知県立大				人間総合科学大	1	1	1	北陸大
6	9	8	山形大			1	京都府立大			1	国際武道大				帝京科学大
6	7	8	福島大				奈良県立大				城西国際大				山梨学院大
10	4	3	茨城大				島根県立大			1	聖徳大				健康科学大
3	3	6	筑波大				高知女子大				昭和				松本歯科大
2	2	2	宇都宮大				福岡女子大			1	千葉工大	1	2	5	東京情報大
4	3	1	豊橋技術科学大				公立大学合計	1			和洋女子大	1	1	2	東京女子大
2	4		埼玉大	36	37	36	国立大学合計(延数)				青山学院大	1	1	1	立命館大
2	2	8	千葉大	127	134	126	防衛大学校				亜細亜大	2	1	1	関西大
1	3	3	東京海洋大			1	航空保安大				桜美林大	1	1	1	関西外大
			お茶の水女子大			1	職業能力開発	3	1	1	大妻女子大	2			近畿大
			電気通信大	2	1	3	岩手農業大				北里大	3	2	1	大阪芸大
			東京大			1	県立産業技術短				共立女子大				奈良大
			東京医科歯科大			1	栃木県立衛生福祉大				杏林大	1			日本文理大
			東京外大			1	合				恵泉女学園大				九州保健福祉大
			東京農工大	1	1		札幌学院大			2	国学院大				合
			東京学芸大			1	北海道工大	2	1	3	国士館大	228	137	168	名寄市立大短大
			一橋大			2	北海道医療大	2	1	1	駒澤大	1	1		岩手県大宮古短
2	1	2	横浜国立大	2	2	2	酪農学園大	1	1	1	駒沢女大	2	5	2	岩手県大盛岡短
2	1	1	新潟大	1	1	1	北海道文教大				産業能率大	6	3	3	山形県米沢女短
			上越教育大				北翔大				順天堂大	3			秋田美術工芸短
			富山大			1	青森大			1	上智大	1			会津大短大
			山梨大			1	八戸工大			1	女子栄養大	1	1	1	大月短
			信州大			1	弘前学院大	5	1	2	成城大	1	3		静岡県大短大
			岐阜大			1	弘前医療福祉大	1	1	2	専修大				大分県芸術文化短
2		1	静岡大				弘前学院大	1			創価大	3			合
			名古屋大				青森中央学院大	1			上智大	2	1		札幌国際大短大
			京都大			4	岩手医大	4	3	6	大正大	4			拓殖大北海道短
			京都工芸繊維大			17	盛岡大	17	9	14	大東文化大				青森短
1			和歌山大			1	富士大	1	2		拓殖大				青森中央短
			愛媛大			3	石巻専修大	3	2	2	玉川大	1	1		東北女短
			琉球大			1	仙台大	1	4	1	中央大	1	2	3	八戸短
			国立大学合計	91	97	90	東北学院大	30	19	15	津田塾大	1	1	1	岩手看護短
			はこだて未来大				東北工大	3	7	2	帝京大	5	1	5	盛岡大短大
			札幌市立大				東北福祉大	10	4	3	帝京科学大	1	1		修紅短
3	6	4	釧路公立大				東北薬大	7	3	1	帝京平成大	4	1	3	聖和学園短
1			名寄市立大				宮城学院女子大	7	3	2	東海大	2	1	9	仙台青葉学院短
1	1	3	青森県立保健大				仙台白百合女子大	1		1	東京音大	1			東北生活文化短
2	3	3	青森公立大				東北文化学園大	5	1	1	東京家政大				聖霊女短
8	10	8	岩手県立大				尚綱学院大	7	3	1	東京工芸大	2	2	1	育英短
2		2	宮城大				ノースアジア大	1	1	2	東京電機大	2			埼玉医大短
3	3	2	秋田県立大				秋田看護福祉大	1	1	2	東京都市大	1			川口短
			秋田大				日赤秋田看護大				東京農大	2		3	帝京平成看護短
3	3	2	国際教養大				東北芸術工大	4			東京薬大	1	1	2	青山学院女短
			山形保健医療大				東北公益文科大	4			東京理大	1	1	2	大妻女大短大
			福島県立医大				東北文教大	1			東洋大				帝京短
			会津大学				福島学院大	1			日本大	6	7	7	東京福祉短
2	1	1	前橋工科大				いわき明星大			1	日本歯科大	2			東京女子栄養短
			茨城県立医療大				つくば国際大	2	1		日本社会事業大			3	白梅学園短
			群馬県立女子大				流通経大	1			日本獣医生命科学大			1	日大短大部
4	5	6	高崎経大				国際医療福祉大	4			日本女子大				東京農大短
			埼玉県立大				白鷗大	1			日本体育大	1	1		新渡戸文化短
			千葉県立保健医療大				群馬パース大	1			文京学院大			1	日本歯大東京短
			首都大東京				群馬社会福祉大	1			武蔵野美大			1	山野美容芸術短
			神奈川県大				上武大	1	1	1	明治大	2	3	2	相模女短
							埼玉工大	1			明治学院大	3			上智短
							共栄大	1			立正大	1			合
							埼玉学園大	1			白梅学園大	1			合

平成25年度部活動の記録

《運動部》

※県ベスト8以上

90 kg級 千葉仁平(2年) ベスト8

※選手権大会出場

硬式野球部

全国高等学校野球選手権記念岩手大会

ベスト8

サッカー部

【女子】

高総体

新人大会

選手権大会

優勝 ※2年連続17回目

準優勝 ※東北大会出場

準優勝

ソフトテニス部

【男子】

新人大会

選抜インドア

個人

佐々木・遠藤

ベスト8

陸上競技部

【男子】

高総体

阿部大樹

三段跳

110mハードル

8位

水泳部

【男子】

高総体

阿部大樹

三段跳

100mバタフライ

2位

平成26年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 平成26年 8 月 9 日(土)
場所 水沢グランドホテル
水沢区東町40
TEL 25-8311



同窓会・水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、同窓会へ4名の方から、総額6万6千円のご寄付を任意にもかかわらず頂戴致しました。同窓会一般会計に入金され、今後の同窓会会報の発行や部活振興等に使用させていただいております。

水高育英会へのご寄付は25名の方より総額43万5千円のご寄付を頂戴致しました。これまでも多くの進学する卒業生を支えてきております。

今後ともご協力をお願いします。

同窓会寄付者(平成25年度末確認分・受付順・敬称略)

石川 精子 青 沼 国 夫
高橋 正樹 佐 藤 義 喜

水高育英会寄付者(平成25年度末確認分・受付順・敬称略)

雨 笠 祥 子	小野寺 武 夫	高 橋 寛	藤 田 春 芳	伊 藤 康 道
池 田 芙 沙 子	菊 地 吉 彦	只 野 康 夫	山 根 明 穂	村 上 倍 達
伊 藤 梧 郎	木 村 恵 也	千 葉 龍 二 郎	油 井 孝 雄	森 岡 陽 一
及 川 征 一	今 野 晁	長 野 耕 定	芳 沢 莖 子	平 賀 和 幸 喜
小野寺 清 哉	佐々木 勲	羽 岡 洋 輔	渡 辺 主 喜	佐 藤 義 喜

同窓生の著書(図書館寄贈分)

平成25年度末現在

著 者	書 名	卒 業 年
朝 倉 宏 哉	詩集 鬼首行き	第8回・昭和31年卒

皆様からの一層のご支援とご声援をいただければ幸いです。



今年、最近水高卒業生の名を語った「オレオレ詐欺」が数件報告されております。十分に注意していただきたいと思います。

さて、最近水高卒業生の名を語った「オレオレ詐欺」が数件報告されております。十分に注意していただきたいと思います。

編集後記

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。

詳しくは水沢高校ホームページをご覧ください。事務室までお問い合わせ下さい。